



ユニット特集

も み じ

ハロウィン

十月三十日に、二階合同行事を行いました。コロナ禍と言う事もあり、今年はお菓子を配り歩くのではなく、ハロウィンの仮装作りをしました。コロナでマスク必須ということで、マスクにハロウィンのデコレーションをしてみました。創作開始直後は、入居者の皆さんは、どんな風に作ったら良いのかと悩んでいる様子でしたが、職員が創作しているのを見てアイデアが浮かんだ様子で、皆さん楽しそうにワイワイとマスクへのデコレーションを行い、自分好みの可愛い作品が出来上がりました。笑顔で記念写真の撮影も行いました。

コロナも落ち着きはじめていたので、来年は仮装をして他のフロアの方ともハロウィンを楽しめたら良いと思います。



みんなでつくるハートケア

『元 気 ク ラ ブ』

施設長 佐藤 幸一



日増しに寒くなり、冬の訪れを感じる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの感染者数も今のところは落ち着きを見せ、ご家族様の面会も12月からは会議室を使用し対面での面会も始まりました。

とはいえ、マスク着用で、アクリル板が目の前にある環境で、何の制約もなしというわけではなく大変心苦しく感じております。それでも同じ空間でお話をさせていただくことは、これまでの日常を取り戻すための大きな一歩と考えております。

また現在、デイサービスでは多くのクラブ活動を通じてご利用者の楽しみ作りに力を入れていますが、特養でも11月から「元気クラブ」を再開し、ご入居者の楽しみ作り、健康維持に努めております。

「元気クラブ」とは、担当職員がいろいろな活動、レクリエーションを企画し、ユニットに関係なくお声掛けして参加していただき、ご入居者も職員も一緒になって楽しむクラブです。下記「庄和和合の笑顔」の中にも「元気クラブ」の様子が写っています。

また「元気クラブ」に先立ち、限られた人数ではありますがコスモスを見学しにドライブにも出かけました。こちらのご様子は庄和和合のブログやYouTubeでもご覧いただくことができます。

これから寒くなりますので、なかなか外出は難しいと思いますが、施設の中においては笑顔こぼれる楽しい時間を作っていきたいと思っております。

そして近い将来、ご家族様も一緒に「元気クラブ」にご参加いただける日が来ることを願っております。

庄和和合の笑顔



特養では、久しぶりに『元気クラブ』を実施しました。皆さま、元気にゲームや、体を動かして楽しみました。

また、コスモス見学にも出かけました。コスモスがとても綺麗と喜んでいただけました。

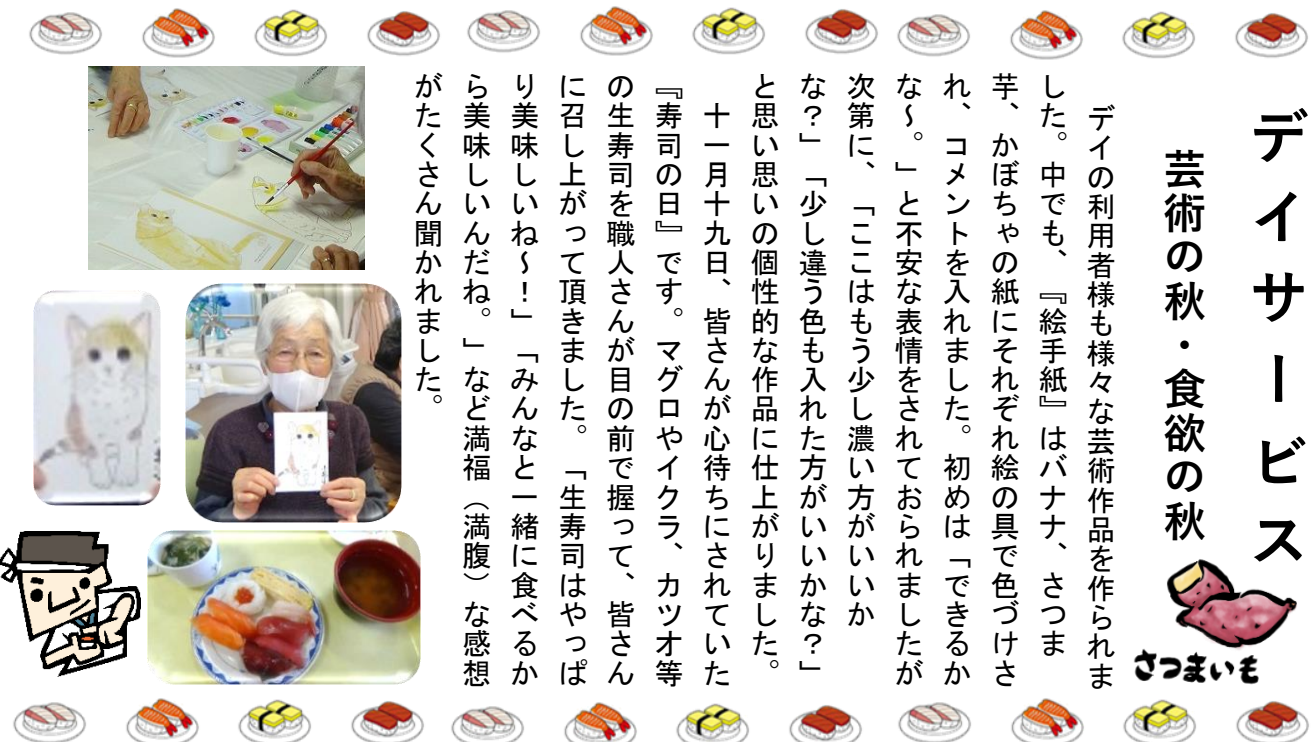


デイサービス

芸術の秋・食欲の秋



デイの利用者様も様々な芸術作品を作られました。中でも、『絵手紙』はバナナ、さつま芋、かぼちゃの紙にそれぞれ絵の具で色づけされ、コメントを入れました。初めは「できるかな?。」と不安な表情をされておりましたが次第に、「ここはもう少し濃い方がいいかな?。」と思ひ思ひの個性的な作品に仕上がりました。十一月十九日、皆さんが心待ちにされていた『寿司の日』です。マグロやイクラ、カツオ等の生寿司を職人さんが目の前で握って、皆さんに召し上がって頂きました。「生寿司はやっぱり美味しいね〜!」「みんなと一緒に食べるから美味しいんだね。」など満福(満腹)な感想がたくさん聞かれました。



りんどう

ハロウィン

十月二十七日に、りんどうではハロウィンパーティーを行いました。その後、沢山の仮装グッズの中から好きな物を選んでもらい、可愛いお化けに変身!「それ、似合うね。」「可愛いね。」「と大騒ぎでした。その後、ハロウィンのお化けの姿で、記念撮影をしました。入居者様は向かい合わせになって、お菓子を渡し、「ありがとう!」と素敵な笑顔を見せて頂きました。最後はお菓子の袋を開けてバクリ。「甘くてとても美味しい!」本日一番うれしそうな声がフロア内に響きました。次回も笑顔が沢山見られる行事を企画していきたく思っております。



いちよう

手作りマスクでコロナをやっつけよう!

コロナウイルスも徐々に落ち着きはじめていますが、まだまだ油断はできない状態です。十月、いちようでは、こんなご時世を逆手にとった行事を計画しました。ハロウィンらしいシールやテープ、イラストでマスクを装飾してみました。真っ白のマスクもひと手間加えるだけで、ちよっぴりおしゃれになりました。職員も皆さんと一緒に大盛り上がりで、自らマスクにイラストを書いてプレゼントをしていました。最後に完成したマスクをつけて、全員で記念撮影を行いました。「ハッピーハロウィン!」とかけ声をかけると、「今は、そんなかけ声があるのか!」と驚かれていました。とある入居者様から「かぼちゃ。」「と皆で言うおうと提案があり、最後の集合写真は「かぼちゃ。」「と大きな声をかけて撮りました。



介護の現場から

もくれん

ハロウィン仮装で

お菓子バイキング



高齢者様にとって、クリスマスがやっと浸透して来た中で「ハロウィンって何だ?。」という質問にうろたえながらも応じさせて頂き「ふくん。」とお仰る皆様にハロウィン仮装を促し、着て頂きました。不思議と嫌がる方もなく笑顔と笑い声の中、仮装を楽しまれていました。リズム体操も仮装しながら進み、皆様、普段と違う時間を過ごされていました。



体を動かした後、いよいよお菓子バイキングです。皆様「これは何かしら? 美味しいかしら?。」と悩みながら且つ楽しそうに選ばれ、「珍しい、美味しい、もう少しもらえるかしら?。」とおかわりされる方が沢山いらっしゃり、仮装のまま時間は過ぎ「こんな楽しいなら、又、お願いしたいわ。」と皆様、仮装もお菓子も喜んで頂いた一時でした。

こすもす

ハロウィンパーティー

こすもすとなでしこ合同でハロウィンパーティーを十月末に行いました。今年は入居者様にはマスクにシールを貼ったり、絵を書いていただきました。「カボチャのシールがいい。」など好きなシールを貼り、楽しめました。入居者様の中にはご自身のインシヤルを書く方もおり、オリジナルのマスクが出来上がり、皆様とても満悦の様子でした。

その後はオリジナルマスクを付けてお一人ずつ写真ととり、最後はみんなで記念撮影をしてとても楽しいハロウィンパーティーを過ごすことが出来ました。

入居者様が、「次に何か作るなら、食べる物がいいね。」と職員も楽しませてもらうことが出来ました。

似合うかしら?



なでしこ

ハロウィンマスク作り

十月三十日、なでしこ・こすもす合同で一日早いハロウィンレクリエーションを行いました。

例年、お菓子を食べるハロウィンレクを行っていますが、今年は趣向を変えて、マスク作りにチャレンジ! マスクに絵を書いたり、シールを貼り、ハロウィンらしいマスクを皆様に作りました。

皆様、どのシールを貼ろうか真剣に悩んでいたりと、猫にヒゲを書いたり、楽しそうにオリジナルマスクを作成し、ご満悦の様子でした。最後にご自慢マスクを着け記念撮影をしました。

ハロウィン当日の三十一日は、おやつにハロウィン仕様のカップケーキを召し上がり、皆様喜ばれていました。

